

[05_03]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468002>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (3), 1972-06-27. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

第22回全国共同利用大型計算機センター運用会議

議 事 要 旨

日 時：昭和47年3月23日（木） 10：00～16：00

場 所：東北大学大型計算機センター大会議室

議 事

I 報告事項

各センターの現況および利用状況について、夫々報告があった。

II 審議事項

1. センターの機構について

前回のセンター長会議の議に基づき、北海道大学および東北大学で作成した3部制（案）について種々審議したが各部で担当する内容と機能等について深く検討する必要があるとの見地から次回に継続して検討することになった。

2. 昭和48年度概算要求について

各センターの拡充計画に関する概要について情報交換があった。

3. 負担金の改正について

負担金・料金問題小委員会から経過報告があったのち大阪大学および東北大学からシステム変更に伴う利用負担金の改正案が提示され承認された。

4. センター間の協議について

前回の議に基づき、各会議および各研究会から、それぞれ活動状況について報告があった。ついで、センター間の連絡・協議のあり方と方法について検討することになり、次のメンバーから成る「センター間連絡・協議に関する検討小委員会」が設けられ、今回の運用会議まで検討のうえ、複数の原案を作成することになった。

委員 長 高 木 修 二 （大阪大学センター長）

委 員 小 野 周 （東京大学教授）

” 福 村 晃 夫 （名古屋大学教授）

” 高 橋 理 （東北大学助教授）

” 中 村 七 郎 （京都大学事務長）

5. 特定の連絡所の特別扱いについて

利用申請に際し、地区協を通じて申請することになっているため、地域によっては不便を生ずることがあり改善策について種々審議した結果、関係する地区協間で話し合いのうえ善処することになった。

6. 沖縄地区各大学の利用について

本年5月15日沖縄全面復帰に伴ない沖縄地区の利用者の取扱いについて種々審議し、九州大学

から第七地区協に所属するよう呼びかけるとともにセンターのあり方を認識させるよう積極的に働きかけることになった。

7. デマンド・ジョブの負担金について

九州大学からの提案に基づき種々話し合った結果、他センターに影響を与えることもあるが、試験的に実施することが了承された。

8. その他

(1) プログラム・ライブラリ研究会について

京都大学で発足時から担当をしてきたが、47年度から他大学に引継ぐことが了承された。

(2) 指導員等の名称について

各センターの現状について説明があったのち、名称の統一について種々意見交換があったが結論を得なかった。